

第 2 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

(第 3 号)

1 平成4年6月17日(水曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 24名

1番 秋山 光章	2番 増田 基彦
3番 島田 保	4番 斉藤 実
5番 宮沢 治海	6番 植木 馨
7番 鈴木 順子	8番 永井 龍平
9番 脇田 安保	10番 庄司二三男
11番 山崎 雅己	12番 岩村 勝弘
13番 榎本 春光	14番 小宮 利夫
15番 山中金治郎	17番 鈴木 忠夫
18番 日下 君敏	19番 川名 正二
20番 生稲 陞	21番 神田 守隆
23番 石井 昌治	25番 流山源次郎
27番 横溝 功	28番 飯田 義男

1 欠席議員 3名

16番 鈴木 勝美	22番 福原 勤
26番 辻田 実	

1 出席説明員

市長 庄司 厚	助 役 小幡 清之
収入役 川上 義雄	市長公室長 永野 修
総務部長 斉藤 賢司	民生部長 佐藤 澄雄
経済部長 小沼 晃	建設部長 伊東 衛
水道課長 鈴木 信一	教育委員会 会長 福原 修

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一	事務局長補佐 土橋 康彦
書記 鈴木 哲	書記 鈴木 修一
書記 松浮 郁夏	

1 議事日程（第3号）

平成4年6月17日午前10時開議

- | | | | |
|------|---|--------|--|
| 日程第1 | { | 議案第51号 | 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第52号 | 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第53号 | 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第54号 | 工事請負契約の締結について |
| | | 議案第55号 | 工事請負契約の締結について |
| 日程第2 | { | 議案第56号 | 平成4年度館山市一般会計補正予算（第2号） |
| | | 議案第57号 | 平成4年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） |
| | | 議案第58号 | 平成4年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号） |
| 日程第3 | { | 請願第7号 | 非核平和都市宣言に関する請願書 |
| | | 請願第8号 | 「コメ市場開放反対都市宣言」を求める請願書 |
| | | 請願第9号 | 館山駅橋上駅舎建設に関する請願書 |

開 議 午前10時03分

◎副議長（横溝 功君） 本日の出席議員数24名、これより第2回市議会定例会第3日目の会議を開きます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎副議長（横溝 功君） 日程第1、議案第51号乃至議案第55号の各議案を一括して議題といたします。

質 疑 応 答

◎副議長（横溝 功君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

21番議員神田守隆君。御登壇願います。

（21番議員神田守隆君登壇）

◎21番（神田守隆君） 議案第53号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてであります。既に通告いたしました諸点についてお尋ねをいたします。

今回国保税の税率を引き下げようとする提案であり、このこと自体は館山市の国保制度始まって以来初めてのことであり、これまで高過ぎるということで、何とか下げてほしいという市民の強い声にこたえたものとして大変評価できるものと思います。これまでの何とか税率の引き上げだけは避けたいとしてきた姿勢から今回の引き下げは一步踏み込んだものであり、私は庄司市長の決断を心から歓迎するものであります。

さて、そこでこうした評価に立ってのことではあります。さらに2点にわたって今回の引き下げについてお尋ねをしたいと思います。

今回の引き下げに係る原資は、予算説明書の6ページによりますと、予算額で4,550万9,000円にすぎません。その一方で、国保会計3年度の剰余金は3億518万2,000円にもなったとのことではあります。このうち2億5,000万円は国保財政調整基金に積み立てることではあります。既に国保財政調整基金には1億7,800万余円がありますから、この基金積み立てでその残高は4億2,800万余円にもなります。これは館山市国保の財政調整基金としてはこれまでで最高水準の基金残高であります。そんなに多額の基金を持つ必要があるのかどうか疑問に感ずるところであります。

そこでお尋ねするのでありますが、もっと引き下げ幅を大きくすることができたのではないかと思うのでありますが、いかがでありますか。例えば、新聞報道によれば、三芳村では平均約10%もの引き下げをするとのことではあります。当市の引き下げ幅は約3%にすぎません。御説明をいただきたいと思うのであります。

次に、今三芳村では10%もの引き下げ案ということを行いました、近隣の市町村の動向はどのようになっておりますか。当市の国保税の被保険者1人当たりの税負担では、内房地区の富浦、富山、鋸南などに比べても高くなっております。今回三芳村が大幅な引き下げを実施するということになりますと、館山市の国保税の水準は近隣の中でも高いものになってしまうのではないかと思いますのでありますが、これら近隣の国保税の動向をどのように把握しておりますか、御説明をいただきたいと思います。

以上、御答弁によりまして再質問をさせていただきます。

◎副議長（横溝 功君） 市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） ただいまの神田議員の御質問にお答えいたします。

まず、小さな第1点目、減税についての御質問でございますが、平成3年度決算見込みにおきまして3億518万2,000円の剰余金が見込まれております。主な原因といたしましては、保険給付費で1億1,809万9,000円の予算残を生じました。これは市民の皆様が健康であったことであり、大変喜ばしいことと考えております。

このようなことから、国民健康保険事業の安定かつ健全な運営を図ることを念頭に置きまして、医療費の動向、老人保健拠出金の増加傾向を踏まえた中で、中長期的な視点に立ちまして、可能な限り全被保険者に対しまして税負担の緩和を考慮したものでございます。

また、老人保健拠出金を算出する上で、老人加入率が20%を超えている現状から、今後確実に老人保健拠出金の増加が見込まれておりますので、剰余金のうち2億5,000万円を財政調整基金に積み立て、今後の国保財政の安定化に努めたいと存じます。

なお、老人保健拠出金算定における老人加入率20%上限の撤廃につきましては、今後とも機会あるごとに国に対して要望してまいりたいと考えております。

次に、小さな第2点目、近隣市町村の動向についての御質問でございますが、館山市を除きまして、安房郡市の10市町村のうち、現時点において鋸南

町、富山町、富浦町、白浜町は据え置きと伺っております。また、引き下げを予定しておりますのは三芳村、千倉町、丸山町、和田町、天津小湊町の5町村であり、鴨川市においては検討中とのことでございます。

なお、課税限度額につきましては、鴨川市と天津小湊町を除く全町村が46万円に引き上げる予定とのことでございます。

以上でございます。

◎副議長（横溝 功君） 神田守隆君。

◎21番（神田守隆君） 国保税の関係で、今回中長期的な視点に立って、できる限りのということで値下げに踏み出したんだ、そういうところから出てきたんだというお話で、この中長期的な視点でというのはちょっとどういう意味なのかということをもう少しお話をいただきたいと思うんですが、ということかと申しますと、これだけの——端的に言って、ことし下げました。来年は上がりますということがあってはならない。したがって、税という性格から、安定したことをやはり考えていかなきゃならないだろうという意味合いではないかな。とすると、一応過去4年間ですか、税率は据え置いてきたという経過があるわけです。今回引き下げをしたということで、そうするとこの引き下げは、今の財政調整基金の残高というものを見た場合に、今後のいろいろな財政の需要が出てくるとも踏まえて、基本的には向こう5年とか何年間の間は税率の引き上げを避けていく、そういうお考えの上でという意味に理解をされているのかどうか、その辺をお聞かせいただきたいと思うのです。

それから、老人加入率については、20%の制限の撤廃ということで、これは館山市の国保にとって非常にゆゆしき問題だというふうに私も理解をいたしますので、市当局においても国に働きかけをしていくという点でぜひ大いに頑張っていたいただきたいというふうに思います。

それと、近隣の動向で、まだ具体的な話までは詳しくはわからないのかなと思うんですけれども、安房郡内の中で、どうも私が見る限りでは、外房地区は今回値下げを——白浜は去年やりましたけれども、白浜を除いて大体やる。しかし、内房地区はやらないということなんです、既に内房地区は1

人当たりの税負担という被保険者負担の数字を見ましても、館山市よりもかなり安いという水準にあらうかと思うんです。ですから、今回館山市が若干の引き下げをした中でもまだ館山の方が高いんじゃないかなとも思いますけれども、外房地区は館山より高いところが多かったわけですから、今回値下げの幅によっては館山よりもむしろ低くなるなどというようなことになりますと、館山市が安房郡の中でも大変高いところになってしまうんじゃないか。そういう近隣との比較、その辺をどういうふうに今の状況の中では考えておられるか、その辺をお聞かせいただきたいと思います。

◎副議長（横溝 功君） 民生部長。

◎民生部長（佐藤澄雄君） まず、第1点目の中長期とは何年ぐらいというようなお話でございますけれども、これ中長期、約5年程度、5年ぐらいの見方しております。具体的には平成4年度から8年度ぐらいを見越したところというふうに考えております。

それと、第3点目の安房郡市の中での税負担ということでございますけれども、平成4年度の当初予算におきますいわゆる現年度課税分の状況を国保係の方で調査しておりますので、その中で申し上げますと、館山市は——いわゆる被保険者1人当たりの計算になりますけれども、6万4,995円というようなことになっております。これは11市町村の中ではちょうど真ん中辺になります。高いところでは6万5,605円、それから6万9,702円、6万8,021円、最低のところでは6万1,463円というような、1人当たりの現年度の課税の分ということでなっております。

◎副議長（横溝 功君） 神田守隆君。

◎21番（神田守隆君） 当初予算の数字では大体真ん中辺だということで、内房地区は館山よりも大体安い、外房地区は館山より高いというのが大体大まかな認識なんですけれども、今回内房地区は値下げは大体しないけれども、外房地区は値下げをするということで、その結果によってはどういうふうになるのかということなんですけれども、具体的な案がまだ調査もされていないから、具体的な数字はわからないだろうと思うんですけれども、こうした状況の中で、館山市が非常にそういう中でも値下げの率が低くて高いなんて

ということになりますと、やはり近隣との兼ね合いという問題も考えなきゃならない要素として出てきますよということで、このところはそれでとどめておきたいと思うんですけども。

そこで、今、中長期的なということで、5年間ぐらいはこの税率を維持していきたい、値上げは避けたいということで一応理解をするんですけども、私逆の問題もあるんじゃないかなということなんです。非常に今回理由の中で、値下げに踏み切れた理由の中で、医療費がかからなかった、そのために1億何がしかの不用額を生じたということが大きな原因の一つでありますけれども、住民にとっては健康に過ごすことができる、お医者さんにかかることが少なくて済むということがあれば、現実には医療費が下がったというのは大変大きな意味を持つだろうと思うんです。今年度引き続き非常に医療費が結果的に——一風邪1億という話もあるから、こればかりはわからないんですけども、しかし幸いなことに医療費がかからずにまた大幅な黒字を計上することができたということがあれば、私は——また中長期的なという議論もしなきゃいけないんですけども、医療費がかかるという、今後大きくかかるだろうという予測のもとでのことばかりではなく、逆に医療費がむしろ少なくて、不用額が大きく、1億とか、そういう形で出てくるということにでもなれば、むしろ改めてまた減税という問題も含めて検討するというのもあるんじゃないかなということなんです。

これはこれまでの議論の中で、値上げだけは避けたいという、そういう中から値下げにということで今回踏み出したということは大変評価するんですけども、さらに来年以降のこの国保の運営の問題では、今回のことというのは住民にとっては健康に留意するということが減税につながるんですよという点では大変大きな意味のあったことであって、引き続き今年度がそうした中で、幸い今年度の決算で黒字を計上できるということになれば、改めてまた減税があってもいいんじゃないか。そのことは全く考えておらないのか、そのことも含めて余地があるのかどうか。これは1年たってみなきゃわからない話ではありますけれども、一応どういうふうにお考えになっておるのか。

私は3年度に国保税を引き下げた団体で見ますと、例えば君津が去年引き

下げておって、またことしも引き下げるんです、2年連続で。鴨川もまた議会では、去年引き下げて、またことしも引き下げるという意向を表明しているようでありますから、一度下げたところがまたその結果によって2年連続で引き下げるということも決してないわけじゃないんで、そういうことも視野に入れて考えておく必要はあるんじゃないか。全然そういうことは考えられませんという御答弁なのか、その辺をお聞かせいただきたいと思います。

◎副議長（横溝 功君） 民生部長。

◎民生部長（佐藤澄雄君） これからの中長期の中での医療費の増高とか、そういうような関係だと思えますけれども、基本的にはあくまでも国保税というのは医療費の増高にかかっているわけでございます。ただ、現在のこれからの客観情勢といいますか、そういう中では — これは国も非常に国保事業は大変だというような基本的な認識に立ちましていろいろ施策を講じているところでございますけれども、これから医療費、特にマンパワーの確保というようなことで、医療費が少なく済むというようなこと、そういう事態は考えにくいんじゃないかというふうに基本的には考えております。

ただ、全国のそういう動向と館山市の医療費の動向、若干差異がございます。そしてまた、健康で長生きをしようという長寿健康都市宣言もありますけれども、市民がそれに向かって知恵を出し合い、行動している。そういう中での医療費の横ばいということもございますんで、そういう視野を — 実際にこれからさらに医療費が館山市の中で減っていくというようなことがあれば、当然それは今後の国保税の軽減等も考えなければならないんじゃないか。ただ、非常に客観情勢からそういうことは考えにくい、そういうようなふうに考えております。

◎副議長（横溝 功君） 市長。

◎市長（庄司 厚君） 今の答弁に加えまして、神田議員の御質問、御意見のような事態になる — すなわち、市民が非常に健康で、医療費が少ないという事態になればうれしゅうございまして、その時点において考えたいと思えますが。

◎副議長（横溝 功君） 以上で21番議員神田守隆君の質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告をしない議員で御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託

◎副議長（横溝 功君） ただいま議題となっております議案第51号乃至議案第55号の各議案は、お手元に配付の議案付託表のとおり所管の常任委員会に付託いたします。

議案の上程

◎副議長（横溝 功君） 日程第2、議案第56号乃至議案第58号の各議案を一括して議題といたします。

質疑応答

◎副議長（横溝 功君） これより質疑を行います。

通告はありませんでした。御質疑はありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託

◎副議長（横溝 功君） ただいま議題となっております議案第56号乃至議案第58号の各議案は、お手元に配付の議案付託表のとおり所管の常任委員会に付託いたします。

請願書の上程

◎副議長（横溝 功君） 日程第3、請願第7号乃至請願第9号の各請願を一括して議題といたします。

委員会付託

◎副議長（横溝 功君） ただいま議題となりました各請願は、6月10日議会運営委員会開催までに受理したものであります。

お手元に配付の請願付託表のとおり所管の常任委員会に付託いたします。

議長の報告

◎副議長（横溝 功君） なお、この際申し上げます。

6月10日議会運営委員会開催までに受理した陳情書は、お手元に配付の陳情送付書のとおり所管の常任委員会に送付いたしましたので、報告いたします。

延 会 午前10時28分

◎副議長（横溝 功君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（横溝 功君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明18日から22日まで委員会での議案審査のため休会、次会は6月23日午前10時開会といたします。その議事は、議案第51号乃至議案第58号等に係る委員会での審査の経過及び結果の報告、討論、採決といたします。

この際申し上げます。各議案等に対する討論通告の締め切りは6月23日午前9時でありますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第51号乃至議案第58号
- 1 請願第7号乃至請願第9号